

令和元年度 大阪府立登美丘高等学校 第3回学校運営協議会 記録

○日時：令和2年1月28日（火）14：00～16：00

○場所：本校 校長室

○出席者：伊藤 潔志（桃山学院大学経営学部准教授）、薬師寺 広隆（第一ゼミナール金剛校 校長）、
笈廣 啓史（同窓会長）、泰中 加代子（PTA 会長）、藤本 一明（登美丘中学校長）、吉井 昌
幸（虹ヶ丘地区自治会長）

○欠席者：なし

○事務局：校長、教頭、古崎首席、益永首席、原進路部長

<次第>

1. 校長挨拶
会長挨拶

2. 報告

- ①令和元年度進路状況について
- ②令和元年度学校教育自己診断について
- ③令和元年度学校経営計画及び学校評価について
- ④その他
「意見書」の提出はなし

3. 協議

①平成30年度学校経営計画及び学校評価について

○主な意見・質問等

- ・自己診断アンケートについて 教員のアンケートにおいて、主語が学校になっているが、主語が自分の方がより自分を振り返る・評価できるのではないか。
→授業アンケートという別のアンケートで、自身を振り返る形のものがある。学校自己評価なので、学校を主語とさせていただいている。
- ・教職員アンケートでPDCAに対し、昨年より数値が落ちている要因の一つに、学習指導要領の変更を見据えての新カリキュラムの協議、総合的な探究の時間の話があり、そもそも変革が多い事に対する自制的評価もあるという説明を聞いた。新カリキュラムに対する協議の進行状況はどうか
→探究の時間が増えることもあり、週32時間、つまり7時間授業を現行の週1日から2日に増やすべきかを協議している。また始業時間を前倒しにすべきかも含めて協議中である。
- ・探究の時間の協議内容はどうあるか
→総合学習に比べ探究学習は、「見つける。考える。発表する」の三段階で進めるべく話している。
- ・家庭学習時間について、自分のころは数英は予習してくることが前提の授業で、それが家庭学習となっていたが？
→自学時間の確保が、学校の課題と考えている。環境整備を行っていききたい。
- ・一人ひとりの進路に向き合って指導されている。行事等の良さを生かしつつ、入試改革や私大の定員厳格化など大変だが、進路保障ができるよう取組みを進めてもらいたい。

②令和2年度学校経営計画（案）について

○中期的目標の数値等を確認し、「めざす学校像」「中期的目標」について承認される。

（座長まとめ）

令和元年度の経営計画は、概ね達成されている。個々の生徒の進路希望に沿って、きめ細やかな指導をよろしくお願ひしたい。入試改革は、まだ全体像が見えないところもあるが、次年度経営計画に基づきしっかり取り組んでいってほしい。一年間ありがとうございました。

*令和2年度第1回開催：令和2年6月中旬の予定